

深刻飢餓24年2.9億人

6年連続増、 が主要因

国連調査

【ローマ共同】国連食糧農業機関（FAO）などは16日、紛争や自然災害で深刻な食料不足に陥った人々の数を示す「急性飢餓人口」が、調査対象となった53カ国・地域で2024年に2億9530万人に上ったとの報告書を公表した。6年連続の増加で、紛争が主な要因だとしている。

急性飢餓人口は23年から1300万人以上増加した。報告書は25年について、トランプ米政権の関税引き上げが世界の食料価格の上昇や供給網に混乱をもたらす恐れがあるとし、国際社会に対応を呼びかけた。

国・地域別ではナイジェリアが3180万人で最も多。スーダンとコンゴ（旧ザイール）がそれぞれ2560万人で続いた。ウクライナが最も深刻な「壊滅的な

【問1】 見出しの空欄に入る語句を2文字で答えましょう。

(紛争)

【問2】調査結果を報告したのは、国連の何という機関ですか。次のア～エから一つ選びましょう。(エ)

- ア 国連児童基金（UNICEF）
イ 世界保健機関（WHO）
ウ 国連教育科学文化機関（UNESCO）
エ 国連食糧農業機関（FAO）

【問3】急性飢餓人口の多い5カ国のうち、最も多く占めている州はどこですか。次のア～エから一つ選びましょう。(ウ)

- ア アジア州 イ ヨーロッパ州
ウ アフリカ州 エ オセアニア州

【問4】イスラエル軍の攻撃が続くパレスチナ自治区ガザで、深刻な食糧不足が進む110万人の状況を、報告書では何と表現していますか。記事中から6文字で抜き出しましょう。

壊滅的な飢餓

【問5】世界の国々の飢餓に対し、日本がどのような支援に取り組んでいるか調べてみよう。

急性飢餓人口の多い5カ国
※国連食糧農業機関などによる

1		ナイジェリア	3180万
2		スーダン	2560万
3		コンゴ (旧ザイール)	2560万
4		バングラデシュ	2360万
5		エチオピア	2200万

飢餓」の状態にあったとした。

急性飢餓人口の発生要因は、紛争が約1億4千万人で最も多かった。南米ペルー沖の海面水温が上がるエルニーニョ現象など異常気象によっても、9600万人以上が影響を受けた。

2025年5月17日付3面

* 習っていない漢字のよみがなや難しい用字用語の解説など

- ・急性(きゅう・せい)＝物事や事態(じ・たい)などが急激に進む様子。
- ・飢餓(き・が)＝餓(う)えること。特に一時的・地理的現象の飢饉(き・きん)と対比して、永続的(えい・ぞく・てき)な餓えのこと。
- ・慢性的(まん・せい・てき)な食糧不足や低栄養状態にいう場合もある。
- ・紛争(ふん・そう)＝もつれて争うこと。もめごと。
- ・供給網(きょう・きゅう・もう)＝商品やサービスなどを市場に提供するために張り巡らせたもの。ネットワーク。
- ・改善(かい・ぜん)＝悪いところをなおしてよくすること。
- ・壊滅的(かい・めつ・てき)＝やぶれほころびるほどの。こわれてなくなるような。
- ・要因(よう・いん)＝ものごとが起きる主な原因。